

七尾から世界へ

～小口瀬戸～

ちょうど背後から貨物船がやってきたので航路を空け外海へ進む姿を見送った。貨物船が運行する姿を眺めていると、確かに狭い海峡「瀬戸」であると実感することができた。



貨物船を見送り再び航路を外海へ向け進む。兩岸の景色がすすんでるのが少し残念である。

小口を抜けると目の前には一面、海と空が広がった。緩やかなカーブを描く水平線は地球が確かにまわっていることを教えてくれ、この海が世界につながっていると実感することができる。

水平線の向こうからはいろいろな国の船舶が七尾へと寄航する。

小口は狭戸ではあるが、世界に大きく広げられた、「交流体感都市」七尾の「門」である。

今月の 主な内容

CONTENTS

ななおの夏
災害避難場所

10 4
}

